

ひきこもり問題を考える

—市民としてできること

全国の推計ひきこもり人数は15～39歳で54.1万人。40～64歳で推計61.3万人と驚く程の数。かつて若者の問題であったことが、今や80代の親が50代の我が子を支えるという中高年にとっての深刻な問題（8050問題）となっています。ひきこもりを当事者や家族だけの問題とせず、だれもがちょっとしたことで陥ってしまう状況と捉え、市民としてどう向き合っていいたらよいか共に考えます。

- 2020年1月29日(水) 開講 全3回 月1回水曜 18:45～20:45
- 会場 さっぽろ自由学校「遊」(愛生館ビル5F 501A)
- 受講料 一般3,000円 会員2,400円 当事者・家族・25歳以下1,200円
(単発 一般1,500円 会員1,000円 当事者・家族・25歳以下500円)

1月29日(水) 第1回

当事者としてひきこもりの支援にかかわって…

- 大橋 伸和 (おおはし のぶかず)

集団型支援拠点「よりどころ」ピアスタッフ

場面緘黙・ひきこもり経験を持ちながら当事者の支援にあたっている大橋さんに、支援活動の中で経験したことや経験を通して考えたこと等についてお話していただき、共に考えます。

2月26日(水) 第2回

中高年のひきこもりの実態と支援 —8050問題を見据えて

- 田中 敦 (たなか あつし)

NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長

8050問題が社会問題化している中、その実態や、支援の様子、今後の課題などについて、自身もひきこもりの経験を持つ田中さんにお話していただき、共に考えます。

3月25日(水) 第3回

市民としてできること

- 大橋 伸和 (おおはし のぶかず)

集団型支援拠点「よりどころ」ピアスタッフ

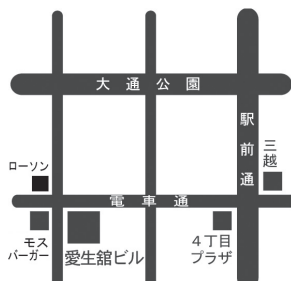
- 田中 敦 (たなか あつし)

NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク理事長

- 新田 大志 (にった たいし)

NPO法人ジェルメ・まるしえ理事長

ひきこもり支援をしている方たちから市民にどんなサポートを望んでいるのかを話してもらい、それを受けて今自分に何ができるのかを、共に考えます。



後援 札幌市

【お申込・お問合せ先】

NPO法人 さっぽろ自由学校「遊」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル5F 501

TEL.011-252-6752 FAX.011-252-6751 syu@sapporoyu.org